

つながりサポート女性支援事業【北海道恵庭市】

個別事業費	2,456 千円
交付金額	1,842 千円

地域の実情と課題

○コロナ禍等により生活への不安やストレスによる児童虐待、また家族以外との接触機会の減少による孤立や経済的な困窮の潜在化が懸念される。また恵庭市内には大学が1校、専門学校が2校と高等教育機関が多く、コロナ禍等によるアルバイト収入や仕送りの減少により、経済的に困窮する学生の増加することも懸念されることからコロナ禍等における様々な不安を抱える女性へ寄り添った相談支援及び生理用品など生活必需品の提供が求められている。

○コロナ禍等により悩みや不安を抱える女性が社会との絆・つながりを回復することができるよう寄り添った相談に対応できる人材の育成が求められている。

事業の特徴

○事業実施に際し、市役所内で関連する部署で連絡会議を開催し、連携体制を構築した。

○対面や訪問のほかLINEなど多様な相談体制を取り、相談者が相談しやすい環境を用意。

○生理用品を対面での受け渡しのほか、非対面としてロッカーでの受け渡しを行うなど配布希望者への配慮をした。

事業の効果

事業の実施により市と実施者であるNPO法人のほか、他の市民団体などと連携した支援体制を構築することができ、相談件数：延べ137件、居場所の提供：14回、延べ147名の方が参加するなど不安の解消や軽減に寄与した。

生理用品配布の際にアンケートを実施し、困窮の状況等について把握を行うことができ、特に市内在住の外国人が、生理用品の購入が困難なことも認識できた。

目的・目標

【目的】○コロナ禍等により不安を抱える女性への相談支援、居場所の提供を行うとともに女性用品等生活必需品を提供する。

○相談支援を充実させるため、オンラインを含む講座を開催し、相談員等人材の育成を行う。

【目標】

- ①相談件数 96件
- ②サロン等居場所の提供 12回
- ③講座受講者数 30人

【実績】

- ①相談件数 137件
- ②サロン等居場所の提供 14回
- ③講座受講者数 104人

連携団体

NPO法人おはな
NPO法人ワーカーズコープ
NPO法人まちづくりスポット恵み野
連合北海道恵庭地区連合

今後の課題

本事業の実施にあたり構築した市と団体等との連携体制を引き続き維持した中で、様々な不安を抱える女性に対する相談などの支援が行える体制を継続し、相談窓口の啓発や周知などについて、引き続き、市において団体と連携を図りながら対応したい。

事業の概要

①相談支援

コロナ禍等による就労や女性差別、ハラスメントやDVなど不安を抱える女性への相談支援。

②居場所の提供

様々な悩みを抱える女性が気軽に集える居場所としてサロンを開設し、居場所の提供。

③女性用品等の提供

コロナ禍等による経済的な理由により女性用品等の購入が困難な女性に対し、生活用品の提供。

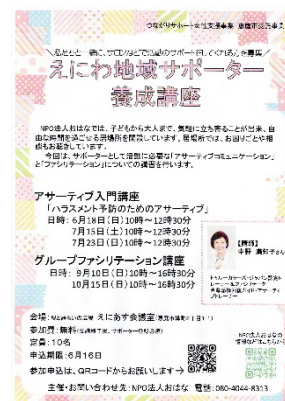
④相談員の養成

悩みや不安を抱える女性に寄り添った相談に対応できる人材の育成のためオンラインを含めた講座の実施。

【支援体制フロー図】

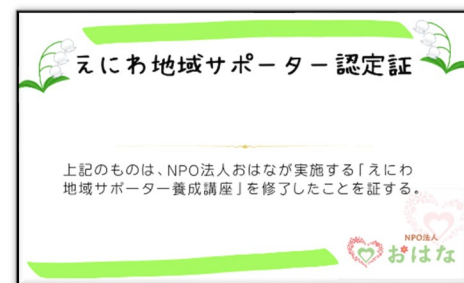


①市内各所に相談シールを設置



②毎月サロンの開催

③地域サポーター養成講座の開催



④地域サポーター養成講座修了証明書